



すべて疲れた人、重荷を負っている人は…

横田 早紀江

2か月ぶりの祈り会ですが、皆様お元気にされていたでしょうか。私にとってこの間は長くて苦しい時でした。暑かったこの夏、もうもたないと思うくらい疲れ果てていました。主人が入院しており、いろいろありましたが、そんな中でも本当に守られているなど感じています。

主人は入院した当初、意識がもうろうとしていた時があって心配したのですが、医師の先生や看護師さんたちの治療・看護のおかげで意識が回復してきました。聞くこと見ることは、はっきりわかります。こちらが言うことは、すぐに全部理解でき、しっかり目を開いて「うんうん」とうなずいたり、「そうじゃない」と意思表示したり。医師も「不思議なことですね」と。「こんなにまでしていただいて、ありがとうございます」と申し上げると、「私たちはめぐみさんが帰ってくるまで、めぐみさんとお父さんが一目でも会うことができるまで最善を尽くします」と言ってくださいました。

主人は、主に救っていただいたこともあると思うのですが、いつもニコニコして平安な表情をしています。看護師さんたちも、「このように穏やかにしてくださるのが本当にありがたいんです

よ。私たちのほうが慰められるほどです」と言ってくださいます。

マタイ 11 章 28～30 節、「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。…」。主人に読んでもらいたいと紙に記して持っていったみことばですが、この夏、私自身の力になりました。このことばを口ずさみ、「ほんとにそうですね」と主に申し上げながら日々を歩むことができました。

北朝鮮問題は、私たちには予測のつかない成り行きになっていて、本当にわかりません。長い間閉ざされていた扉が開けられ、トランプ大統領と金正恩キムジョンウン委員長が直接会話することなど、信じられないほどびっくりすることでした。そこから、いいことか悪いことか何につながるかわかりませんが、動きを見守り、「最善に導いてください」と祈るしかありません。金委員長にはこれまで、「もう大丈夫だろう」と思っても、何度もだまされる経験を積んできました。多くの人々がそれを知るようになり、北朝鮮がどんな国で、今何をしようとしているのか、世界じゅうがメディアを通して凝視しています。

何もわからない真つ暗闇の中にあったかつての頃を思うと、奇跡



に近いと思います。あとは、「神様、金正恩の心を変えてください」とひたすら祈るばかりです。人の力ではできないことを、神様は必ずなさってくださいと私は信じています。

今日午前中、診察に行ったら、お医者さんに「横田さん、どうしたの？ 血圧が175に上がっているよ」と言われました。思い当たる節もなく、「どうしてでしょう」と言ったら、「わからないなあ。大丈夫ですか？」「これからまた出かけます。大丈夫みたいですよ」と笑って、ここまで来ました。あらゆることで、もうどうしたらいいかわからないことがいっぱいあります。でも、背後にある皆様の深い祈りに支えられていることを感じながら、感謝して過ごしています。

(9月20日の祈り会より)